



スピードダイヤルと短縮ダイヤル

- [スピードダイヤルと短縮ダイヤルの概要 \(1 ページ\)](#)
- [スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定タスクフロー \(2 ページ\)](#)

スピードダイヤルと短縮ダイヤルの概要

管理者は、ユーザに対して短縮ダイヤルボタンを表示する場合、または特定のユーザが割り当てられていない電話を設定する場合に、電話の短縮ダイヤル番号を設定できます。ユーザは Cisco Unified Communications セルフケアポータルで各自の電話の短縮ダイヤルボタンを変更できます。短縮ダイヤルエントリを設定すると、一部の短縮ダイヤルエントリが IP フォンの短縮ダイヤルボタンに割り当てられ、その他の短縮ダイヤルエントリが固定短縮ダイヤルに使用されます。ユーザが番号のダイヤルを開始すると、[短縮 (AbbrDial)] ソフトキーが表示されます。ユーザは、固定短縮ダイヤルの適切なインデックス (コード) を入力することで、任意の短縮ダイヤルエントリにアクセスできます。

電話の短縮ダイヤル設定は電話の物理ボタンに関連付けられていますが、固定短縮ダイヤル設定は電話のボタンには関連付けられていません。

一時停止による短縮ダイヤルのプログラミング

短縮ダイヤルでコンマをプログラムすると、強制承認コード (FAC)、クライアント識別コード (CMC)、ダイヤル中のポーズ、または付加的なディジット (ユーザ内線、会議のアクセスコード、ボイスメールのパスワードなど) を必要とする接続先にダイヤルできます。短縮ダイヤル内では、各コンマ (,) は次のいずれかを表します。

- 宛先コールアドレスと FAC または CMC コードを区切る区切り文字
- 接続後の DTMF ディジットを送信する 2 秒前

たとえば、FAC コードと CMC コードを含み、その後に IVR プロンプトが続く短縮ダイヤルが必要だとします。

- 着信番号は 91886543 です。
- FAC コードは 8787 です。

- CMC コードは 5656 です。
- IVR 応答は 987989 # です。これは、通話が接続されてから 4 秒後に入力する必要があります。

この場合、短縮ダイヤルとして **91886543,8787,5656,,987989 #** をプログラムします。

スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	電話機能一覧の生成	スピードダイヤル機能と短縮ダイヤル機能をサポートするデバイスを特定するためのレポートを作成します。
ステップ 2	スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定 (2 ページ)	スピードダイヤル番号と短縮ダイヤル番号を設定します。

スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定

全部で 199 のスピードダイヤルおよび短縮ダイヤルを設定できます。電話機の物理的なボタンにスピードダイヤルを設定します。短縮ダイヤルでアクセスするスピードダイヤル番号の短縮ダイヤルを設定します。同じウィンドウでスピードダイヤルエントリと短縮ダイヤルインデックスを設定できます。

FAC や CMC と同様に、ポスト接続 DTMF のディジットをスピードダイヤルに含めて設定できます。

スピードダイヤルと短縮ダイヤルを設定するには、次の手順を実行します。



- (注) すべての Cisco IP 電話で短縮ダイヤルをサポートしているわけではありません。該当の電話機のユーザガイドを参照してください。

始める前に

[電話機能一覧の生成](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。スピードダイヤル ボタンを設定する電話を選択します。
- ステップ 2** [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、ウィンドウ上部の関連リンクのドロップダウンリストから [スピードダイヤルの追加/更新 (Add/Update Speed Dials)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
[スピードダイヤルと短縮ダイヤルの設定 (Speed Dial and Abbreviated Dial Configuration)] ウィンドウが電話機に表示されます。
- ステップ 3** [番号 (Number)] フィールドに、ユーザがスピードダイヤルボタンまたは短縮ダイヤルの短縮ダイヤル インデックスを押すときにダイヤルされる番号を入力します。0～9の数字、*、#、および+ (国際エスケープ文字) を入力できます。スピードダイヤルにポーズを含めるには、DTMF のディジットを送信する前にデリミタとしてカンマ (,) を入力できます。文字列に含める各カンマは、追加の2秒間のポーズを表します。たとえば、2個のカンマ (,,) は、4秒間のポーズを表します。このポーズは、スピードダイヤル文字列の中の他の数字と、FAC および CMC を区別するためにも使用できます。
- (注) スピードダイヤル文字列に FAC および CMC を含めるとき、次の要件が満たされていることを確認してください。
- スピードダイヤル文字列では、FAC が常に CMC よりも前に来る必要があります。
 - FAC および DTMF のディジットを含むスピードダイヤルには、スピードダイヤル ラベルが必要です。
 - 文字列内の FAC および CMC のディジット間に入力できるカンマは1つだけです。
- ステップ 4** [ラベル (Label)] フィールドで、スピードダイヤル ボタンまたは短縮ダイヤル番号に対して表示するテキストを入力します。
- (注) このフィールドは、どの電話でも使用できるわけではありません。このフィールドが Cisco Unified IP Phone で使用可能かどうかを判断するには、使用している電話機モデルのユーザ マニュアルを参照してください。
- ステップ 5** (任意) スピードダイヤルにポーズを設定する場合、FAC、CMC、および DTMF のディジットが電話画面に表示されないようにラベルを追加する必要があります。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。